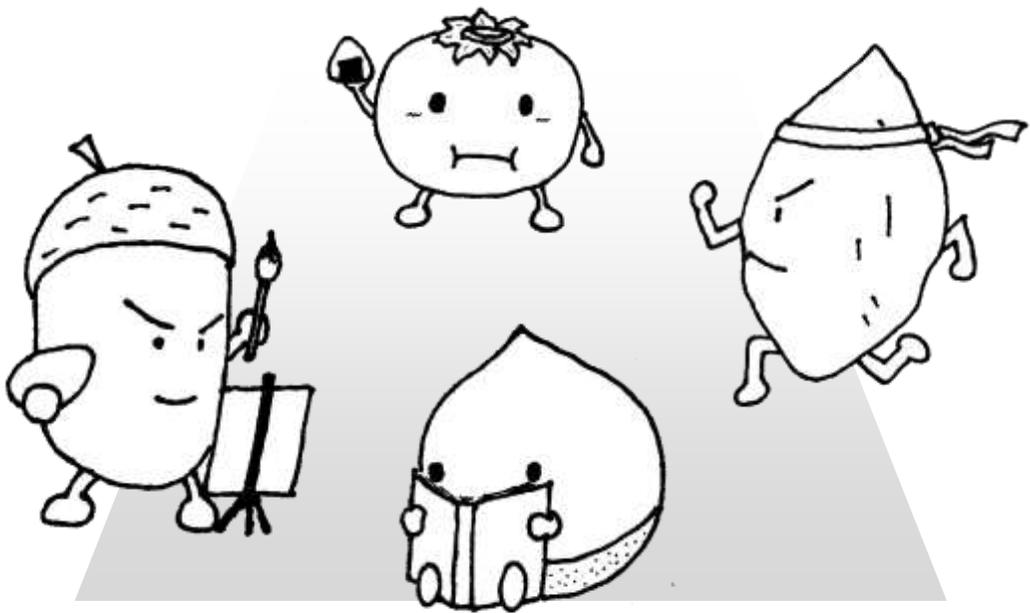


CILとちぎ通信

第14号 平成25年9月30日発行



- | | | | |
|----------------------------|---|---------------|----|
| • 重度の障害があったって自分のことは自分で決める | 2 | • 皆さんどうも、僕です。 | 7 |
| • 映画上映会と講演会 | 4 | • 寒い夜だから | 8 |
| • 逃げ遅れる人々を鑑賞して改めて震災当手を振り返る | 5 | • 映画の中の障害者 | 9 |
| • バーベキュー大会 | 6 | • みっちゃんの北海道旅行 | 10 |

特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

電話・FAX : 028-638-2538 E-mail : ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm>

「重度の障害があったって自分のことは自分で決める！」

さいとうやす お
齋藤康雄

たかさき しゅさい ぜんこくじりつせいかつ きょうぎかい かいごほしやう
高崎シンポジウムが、主催 全国自立生活センター協議会、介護保障を
かんが べんごし しやうがいしや かいぜんこく こうえん ぐんまべんごしかい
考える弁護士と障害者の会全国ネット、後援 群馬弁護士会で 2013年
がっ にち ど たかさき かいさい
10月19日（土）ピエント高崎で開催されました。

「わたし あんしん ひとりぐ ぼく じぶん おも じゆう
私は安心して一人暮らしをしたい！僕は自分の思うように自由に
がいしゆつ じゆうどしやうがい ひと おも じつげん
外出したい！」 重度障害のある人がこのような思いを実現するための
かいごほしやうせいど くに ほくりつ せいど へんか とも じよじよ はってん と
介護保障制度は、国の法律や制度の変化と共に徐々に発展を遂げています。
さいばんしょ かんじゃ にち じかんにじやう こうてきかいご ほしやう めい
裁判所も ALS患者に 1日21時間以上の公的介護を保障するよう命じるな
ど（2012年の和歌山ALS訴訟）、介護保障の重要性は社会的に見直され
ています。



かいごほしやう かんが べんごし
介護保障を考える弁護士
しやうがいしや かいぜんこく
と障害者の会全国ネットは、
しやうがいしや なんびやうかんじゃ ちいき い
障害者・難病患者が地域で生
きていくために必要なヘルパ
ー制度の利用時間が十分に
ほしやう せいで りやうじかん じゆうぶん
保障されるため手助けをする
ことを目的として設立されま
した。多くの実績を積んでき

た弁護士さんが、介護保障の先駆的な取り組みを報告してくれました。

シンポジウムでは、基調報告として藤岡毅弁護士が、憲法、条約、法律
の位置づけについて説明され、「日本国憲法＞障害者権利条約＞障害者
きほんほう しやうがいしやそうごうしえんほう かんけい いしき
基本法＞障害者総合支援法」の関係にあることを意識していただき、その
うえ かいごほしやうもんたい じんけん もんたい しやうがい かつ ちいき しえん う
上で、介護保障問題は人権の問題である。障害のある方が地域で支援を受
けながら生活をすることは、基本的人権の保障に他ならない。また、2013
ねん がっ にち しやうがいしやけんりじやうやく こっかい じやうてい ひじゆん よそう
年10月15日に障害者権利条約が国会に上程され、批准されることが予想
される中、介護保障を考える上で憲法上の人権を意識していくことが重要
であると説明がありました。

＜憲法上の人権＞

じやう こうふくつききゆうけん こじん そんげん しやうがいしや ちいき せいかつ けんり
13条 幸福追求権・個人の尊厳 ←障害者が地域で生活する権利

22条 居住移転の自由・障害者の移動の自由 ← 障害者が地域で暮らす権利、移動介護を利用する権利

14条 平等権 ← 障害のある人もない人も平等になるような権利

25条 生存権 ← 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利

憲法22条を具体化したのが、障害者権利条約19条にあたり、「自立した生活〔生活の自律〕及び地域社会へのインクルージョン」（障害のあるすべての人に対し、他の者と平等の選択の自由をもって地域社会で生活する平等の権利を認める。）。改正障害者基本法 第3条にも、「・・・すべての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する・・・」記載されている。障害者総合支援法 第1条にも「・・・基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、・・・支援を総合的に行い、」とあり、必要な福祉サービスを行う義務があるとされています。

これまで、司法は、社会政策には、関与しなかったが、障害者の在宅での自立生活は、憲法22条等に規定された基本的人権であり、かつ個人の精神的自由の保障の問題であり、司法審査は厳格に行わなければならない。

今まで、障害者の地域生活は、運用基準、家族介護論、財政問題論を理由になかなか、地域生活が進んでこなかったが、憲法、障害者権利条約などの根拠とした権利論で、地域で支援を受けながら当たり前前に暮らせる地域になれたらと思うシンポジウムでした。



えい がじょうえいかい こうえんかい 映画上映会と講演会

ながたげんじ
永田元司

えい が に おく ひとひと じょうえいかい こばやしあつこ こうえんかい がつ
映画「逃げ遅れる人々」の上映会と小林厚子さんの講演会を、6月19
にち とちぎ ふくし プラザで おこな
日にとちぎ福祉プラザで行いました。

えい が に おく ひとひと ひがしにほんだいいんざい う しょうがいしゃ しえん
映画「逃げ遅れる人々」は、東日本大震災を受け、おもに障害者への支援
かつどう 活動として、DP I にほんかいぎ ぜんこくじりつせいかつ きょうぎかい かせききん
活動として、DP I 日本会議、全国自立生活センター協議会、ゆめ風基金が
ちゅうしん 中心となって発足した東北関東大震災障害者救援本部がその活動で関
ひさい ひさい かんけいしゃ こえ きろく
わった被災した障害者やその関係者の声を記録したものです。テレビや
しんぶん 新聞では一般の被災者の方々の苦労や大変さを伝えることはあっても、
しょうがいしゃ ようす つた すす しょうくう
障害者の様子を伝えることは少なく、どのような境遇にあったのか知る
ことができる貴重な映像だったと思います。また、きゅうえんほんぶ ひさいち
救援本部から被災地や
しえん ようす うつ か てんじ らいじょう
支援の様子を写したパネルを借りることができたので、それも展示し来場
した方に見ていただきました。



こばやしあつこ みやぎけんいしのまきし
小林厚子さんは、宮城県石巻市
ほうじん しょうがいじ とち あゆ
のNPO法人「障碍児と共に歩む
かい ふくりじちょう しょう
会」の副理事長であり、ダウン症
むすこ ちいき ふつがっこう
の息子さんを地域の普通学校に
つうがく そだ けいけん も
通学させて育てられた経験を持ち、
た しょうがいじ かぞく ちいき
他の障碍児やその家族が地域で
せいかつ ささ かつどう
生活できるよう支える活動をされ
てきた方です。そうした経験から

ちいき なか い だい むすこ がっこうせいかつ
「地域の中で、つながって生きる」と題して、息子さんの学校生活などを
おはなし ねんせいだいがく て かしや はたら
お話してくれました。それから4年制大学を出て、お菓子屋さんで働いて
いるという成長ぶりをお聞きし、おや
ゆうじん せんせいとう しゅうい かた かか
や友人、先生等の周囲の方の関わり
かた しゅうよう おも
方は重要だなと思いました。

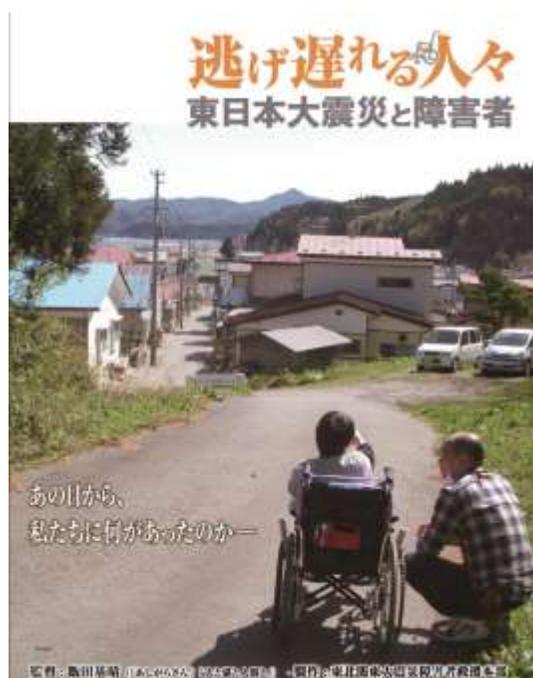
へいじつ こ
平日にもかかわらず100名を超
かたがた あつ しゅうえき
える方々が集まってくださり、収益
きん きゅうえんほんぶ しょうがいじ とち あゆ
金を救援本部と障碍児と共に歩む
かい だんたい えん
会の2団体へ18,565円ずつ
き ぶん
寄付することができました。



逃げ遅れる人々を觀賞して改めて震災当時を振り返る

千田真巳

映画「逃げ遅れる人々」を觀て、車いすのため避難所で生活が困難になつてしまった女性の箇所を觀て震災の時、この女性に近いことがあったことを思い出しました。



自分が大学生のときにお世話になっていたアパートの大家さんがこの女性に近い状況でした。障害があるわけではないのですが、高齢のため足腰が弱く避難所には行かないで自宅で生活していました。自分は避難所である自分の大学で生活をしていたので、一時帰宅ができるまではそのことを知りませんでした。一時帰宅した時にアパートの友達の何人かとはな話合つて、自分達は避難所を中心に生活することを大家さん

に伝えて、同時に自分達の家にあった食べられそうな物を大家さんにわたして避難所にもどりました。

あの時は、これでしばらくは大家さんも大丈夫だろうと思つていましたが、映画を觀ることで避難所から食料を届けたり、定期的に声かけなど、もっとやれることがあったのではないかと思うことがあります。映画は災害が起きたときにどのように行動すればいい考える機会をくれた良い機会になりました。



バーベキュー大会

はちちゃん

9月28日毎年恒例になったバーベキュー大会が開催されました。3日前には台風18号が日本列島を南は沖縄、北は北海道まで丸呑みにしながら縦断して大きな被害をもたらしました。バーベキューの日が近づいているので毎日天気予報をテレビにかじりついてドキドキしながら準備していましたが、当日は朝から晴れて、気温も暑くも寒くもなく調度良い一日でバーベキュー日和でした。

いつもは参加者が大人ばかりでしたが、今年にはちびっ子が大勢（とはいっても5人だったけれども）参加してくれて、にぎやかに、なごやかな一日で楽しかったです。ちびっ子達も一生懸命に肉を焼いたりし、お手伝いしてくれたので大助かりでした。お腹いっぱい食べた（なったでしょうか？）



その後ゲームをして楽しみました。ゲームは5円玉をヒモで通して首にかけて、みんなと自己紹介をしてジャンケンをしながらまわりました。勝った人は5円玉を首に下げてもらいました。最後にどれだけ多く5円玉を持っていたかによって賞品がもらえる簡単なゲームです。

誰が1番だったかは参加した人は知っているので書かないことにします。



みな ぼく
皆さん！ どうも僕です。 あ、ヘルパーの鈴木です。（笑）
はつとうしょう なに はな まよ がんば
初登場で、何を話そうか迷っていましたが、頑張ります。

ではまず、私（鈴木大地）が誕生した山形県について話します。まず
ひとことい くだ やまがたけん ほんとう よ ところ わたし
一言言わせて下さい。。山形県は本当に良い所です！（笑）私がこの
とちぎけん ころ さい ころ
栃木県に転がりこんできたのは3歳の頃だそうです。そうなんです。ただ
う やまがたけん はなし ねん かいはいは おい
生まれが山形県ってだけの話です。（笑）ですが、年に2、3回母と甥っ
この の かえ はは ね やまがたおんな やまがたけん だいす
子に乗せて帰っています。母は根っからの山形女ってぐらい山形県が大好き
やまがたけんめいぶつ からみそ だいす
だそうです。そして、山形県名物の「辛味噌らーめん」が大好き。この
からみそ びみ からみそ
「辛味噌らーめん」。。とにかくとても美味なんです！！この「辛味噌ら
れきし すがた き かた つづ
ーめん」の歴史や姿など、気になる方は「続きはwebで」（笑）

らーめんの話は一旦やめて、話を続けます。母の実家は山形県の南に
ありまして、周りが田んぼや畑、コンビニやスーパーは車で20分。そ
いなちゆう いなか ことし ほん やまがた かえ せんこう
んなド田舎中のド田舎なのです。今年のお盆に山形に帰って、お線香をあ
げたりして、ひと休みしたら甥っ子が暇そうにしていたのでそこら辺の
かわ と い
川でザリガニ取りに行きました。

ザリガニが釣れて2人のテンションが上がって
た時のことです。なんと周りで遊んでいた子供達や登
げこう がくせい ちか わたし
下校していた学生さんなどが近づいてきて「私もやりた
い！」「僕釣るの得意だよー！」などと言ってきたので
す！しまいには、自分の自宅からザリガニ釣りセット
も 持って くる子もいました。（笑）ザリガニを取ってザリガニ同士で対決し
たりと楽しい時間と思い出を子供達からいただきました。

まさかこのご時世でこんな体験するなんて思ってもみなかったです。私
おい こ ぶく うで どころ しゅう ただよ はい
と甥っ子の服や腕は泥だらけ&ザリガニ臭を漂わせながらバケツに入っ
たザリガニを母に見せたらこっ酷く怒られましとさ。。めでたしめでたし。

やまがたけん す おち じぶん やまがたけん す
山形県に住もうかなって思うぐらい自分はこんな山形県が好き！ってい
はなし
う話でした。（笑）



さむ よる
寒い夜だから

おおやまのりこ
大山智子

あなたを待ちわびて。気温が下がるたびにふと思ひ出します。暑いときは、全くもって頭に浮かびませんが、この頃頻繁にあなたを思う日が続いております。それは、そう……あ・い・つ??

冬の食の王道【鍋料理】!

秋冬はあったかいスープや具材を食べて、心身共にあったかくなりたいのです。頸髄損傷で体温調整がうまくいかないし、気ままにお風呂に入れないし、身体もあまり動かさないで、寒い日はホッカイロと鍋料理で温まるほかないのです(切実)



ひとり暮らしでも小さい鍋で作るのは気が引ける(大きめの鍋で作るほうが美味しい気がしませんか?)。でも、大鍋で作ると何日も同じメニューになって飽きてしまうので、私は毎回アレンジして食べています。

今回はある日の鍋アレンジを紹介したいと思います。ちなみに具材は、その日に冷蔵庫にあるもので作っています(分量や味のこさはお好みで)

ベース鍋具材 大根・人参・長葱・小松菜・鶏肉・油揚げ・蓮根・昆布茶・塩麴・酒

① は、れんこんのとりみが温まるすり流し鍋
大根、人参、長葱、鶏肉、油揚げはいちょう切りやななめ切り、一口大など食べやすい大きさに切る。小松菜も食べやすい長さに。

蓮根は皮を剥き酢水につけアク抜きし、すりおろしておく。

鶏肉は塩麴+お酒につけておく。

鍋に昆布茶出しを入れて人参・大根・鶏肉・を煮る。

すりおろした蓮根を入れ煮とりみがついてきたら、油揚げ・長葱・小松菜を入れる。

② は、残った鍋にカレー粉を入れて、血流促進カレー風味

③ は、牛乳と麵つゆ少々に入れて、カレーうどん風

ここまでアレンジすると、ひとり暮らし鍋料理も飽きずに食べれます。

その他アレンジ鍋に、

①ポトフ→②トマト缶をいれる→③とろけるチーズとパスタ

①湯豆腐→②ズンドゥブチゲの素→③とろけるチーズとごはん

①キムチ鍋→②コチュジャンとすりゴマ→③豆乳と麺で担々麺風

アレンジして食べる鍋で、カラダを中から温めて冬をのりきりたい
p(^_^)q

でも、やっぱり一番は大人数でわいわい言いながら食べる鍋がなにより
美味しいですけど（笑）

映画の中の障害者

ながたげんじ
永田元司

私は結構映画を見るのが好きである。特にこだわりなく何でも見るほう
なので、障害や難病を扱ったものも数多く観てきた。肢体不自由や視覚、
聴覚の障害、精神障害や知的障害、発達障害や難病などあらゆるもの
が映画で描かれてきた。人生の途中で障害を負ったり病気になって生き
方を変えなければならなかったり、世間の無理解に苦労したり立ち向かっ
たりというのは、それだけでドラマになるので、そんな映画がたくさん作ら
れてきたのも当然だろう。

障害者が主人公として描かれるのは当然として、「ギルバート・グレイ
プ」のように障害者の家族が主人公となっている映画もある。また、障害
そのものをテーマとして取り上げているものもあれば、「座頭市」や「ポー
ン・コレクター」のように主人公の設定が障害者だったというものもある。
さらに、伝記もののように感動的に描かれているものもあれば、コメディ
タッチで軽快に描かれているものもある。

ファレリー兄弟のように障害をタブー視せずコメディのネタとして使
い、ある方面からはブラックだとか差別的とか言われるような登場のさせ
方もあるが、それで笑えるかどうかは、障害者に対する見方がどうである
かというよりも、単純にネタとしての完成度の問題のような気もする。

そんないろいろある映画の中で、障害者の登場の仕方が一番好きなの
が「ノッティングヒルの恋人」である。ご存知の人も多いと思うが、ヒュ
ー・グラントとジュリア・ロバーツの恋愛映画だ。詳細は覚えてないけど、
簡単にストーリーを言ってしまうとノッティングヒルで本屋を営むヒュ

ー・グラントが役の上でもハリウッドスターのジュリア・ロバーツと偶然をきっかけに恋仲になるというというもの。しかしストーリーよりも、車いすの女性が登場人物としていたのが良かった。

たいてい障害者が映画に出てくるときは、障害者であることに特別な意味を持つことが多い。その障害ゆえに苦難を味わったり、その障害特性を利用して話が展開していったりとか。そんな中、ノッティングヒルの恋人に出てきた車いすの女性は障害者であることにあまり意味がなかったように思う。ヒュー・グラントの友人夫婦の奥さんで、かつてはヒュー・グラントと付き合っていたような設定だったと思うけど、障害者でない設定だったとしてもストーリーに何の影響もなかったんじゃないかな。

私は障害者が特別視されずに普通に社会に溶け込んで生活できるというかなと思っているので、この映画では普通に生活している登場人物がたまたま車いすを使っていたという感じで、印象に残っている。だいぶ前に見たので大事なところを忘れていたり、重要な伏線だったのを見逃したりするかもしれませんが・・・。

日本では20人に1人が障害者という説もあるが、そうとすれば映画に出てくる登場人物の5%がストーリーと関係なく障害を持っていてもいいと思う。常に介護の必要な重度の障害者がでてきて、先読みの好きな映画ファンにこの人物がストーリーのカギを握るのではと思わせながら、特に何もせず肩透かしを食らわせるような映画があったっていい。



みっちゃんの北海道旅行！！（4日間の北海道ツアー）

みっちゃんは動物が大好きであちこちの動物園へ行っていますが、北海道の旭山動物園へ行くのが夢でした。みっちゃんの数多い友達の1人でその方に3年前から旭山動物園へ連れてってと、おねだりをしていました。

（本当）は3年前に計画を立てましたが、その時は叶わず今年やっと行くことができ4人のお友達とみっちゃん、5人のツアーができました。

まず宇都宮から羽田空港までお友達の車で高速を使って約3時間、羽田で搭乗手続きを1時間半掛かりました。みっちゃんの電動車イスを

てにもつ とうじょう じかん しょうがいしゃ いちばんさき の こ ほか じょうきやく
手荷物にして、空港の車イスに乗り換えて2時ごろお昼ご飯を食べて、い
よいよ搭乗の時間です。障害者は一番先に乗り込むので他の乗客より
いちじかんはや じゅんび ひこうき きない ざせき ざせき
も一時間早く準備をしなきゃいけません。飛行機の（機内で座席と座席の
あいだ はい くるま の か しぶん せき つ
間に入るギリギリの車イス）に乗り換えて、自分の席まで連れてっても
らうのも全部職員さんが気配りをしてくれました。少しでも安く行こうと
おも いっぱん ざせき と そと み えなく と た ところ み
思って一般に座席を取ったので外がよく見えなくて飛び立つ所は見えま
せんでした。

ほっかいどうあさひかわくこう じぜん よやく
いよいよ北海道旭川空港へついて、事前に予約しておいたレンタカーで
ホテルへ…ところが、レンタルに行った人がなかなか戻ってこなくて1
じかん ま の
時間は待たせました。やっとレンタカーに乗ってホテルへついたのは
うすくら つ さいしんしき
薄暗くなってしまいました。リフトが付いている最新式のレンタカーで
でんどうくるま の ないぶ みる ところ あたら
電動車イスのまま乗ることができました。ホテルの内部は古い所と新し
い所があって車イスでそのまま入れる所の床はフラットではなく畳の
ところ くるま はい ところ ゆか たみ
お部屋でした。トイレは一応付いていましたが手摺りが付いていなく古い
もの ひろ かいぞう かん てす つ みる
物を広く改造した感じだったのでみっちゃんはやりやすく大浴場近くの
てす つき ひろ つか
手摺り付の広いトイレを使いました。

さて、みっちゃんの介護はというと、やったことない方はかりなので
ふたりが掛 ふう にんかか ひろ かぞく ふう だ いっしょ
トイレは2人掛りでお風呂は4人掛り（広い家族風呂だったので）一緒に
はい ひとりゆふね なか だ にゅうよく
入り1人湯船の中ですと、みっちゃんを抱っこして入浴しました。あと
の3人は代わり代わり足を押さえたりして、みんなで助けてくれました。
にん か が あし お だす
その隣に露天風呂もあったので、みんなで入りお風呂好きのみっちゃんは
だいまんぞく
大満足でした。

ゆうしょく なまもの にく す けいかく た
夕食でみっちゃんは生物もお肉もあまり好きじゃなくて、計画を立てて
くれたアイさんがホテルの方に話をしてくれたので、食べたい物だけを特別
メニューで出してくれて他の4人とみっちゃんのメニューは違って
ちょうごうか だ ほか にん ちが
超豪華なメニューでホタテの焼き物や海老サラダや鮭の鍋物といった感
じでした。みっちゃんが行った時期は玉葱やグリーンアスパラが旬で毎日
たいりょう で と にんいっしょ だす
大量にサラダになって出てきました。泊まったのは5人一緒にみんなで助
けてくれて、みっちゃんだけは簡易ベットを借りて寝ました。

ふつかめ どうぶつたち あ
2日目はいよいよ動物達に会いにゆくのでみっちゃんはドキドキワクワク
しながら車へ乗りこみました。ホテルから動物園まで約20分足らずの

ところみち まよ ぶんぐらい か えんない さかみち きゅう
所道に迷ってしまい40~50分位 掛かりました。園内は坂道が急で
くるま お ひじょう たいいん ところ しんぶん など さわ
車イスを押すのには非常に大変な所でした。テレビや新聞などで騒がれ
ているように とうぶつ たちの せいだい せいかつ よく わ 分かる ような こうぞう で き
動物たちの生態とか生活ぶりは良く分かるような構造に出来
ていて時間があれば一カ所でじっくり見てたら楽しかったかなと思います。
みっちゃん はちゅうるい にがて じかん たいの おち
みっちゃんは爬虫類は苦手で、時間があまりなかったので、鳥と爬虫類は
よ むじゅう さる やあまり見られない動物たちに会いました。

ちじょう たか へいき ある
レッサーパンダは地上から4メートルほどの高さのロープを平気で歩い
て途中で寝てしまいました。一番みっちゃんの中では白熊が感動的でした。
もぐもぐタイムという事は動物たちのお食事の時間だそうで、餌をもらっ
て たい すいそう なか おお からだ もぐ で もぐ で
食べるのですが大きい水槽の中を大きい体で潜っては出て潜っては出
て じゅうじさい すいそう うご まわ えさ な すいそう
自由自在に水槽を動き回っていて餌をどこから投げているのかは水槽の
はし たか だい した ぜんぜん み しろうま て ひら まる
端っこに高い台があって下からは全然見えません。白熊の手の平は丸くて
まんじゅう みすか みすか かん からだ わり みみ
お饅頭みたいなポコポコした水掻きみたいな感じでした。体の割に耳が
ちい め やさし むじゅう おち
小さくて目は優しく、とても猛獣とは思えなくぬいぐるみみたいで可愛
らしい感じでした。

す よこ ね こ うご
さてトラのもぐもぐタイムは済んだのか横になって寝込んでいて動こう
としません。まるで大きい猫でした！黒豹は大きい檻の中で森を再現して
いるのでみっちゃんの目にはどこにいるのかわからないくらい薄暗い所
め
の木に登って動かないのでよくわからなかったです。おおかみ もり ほか どうぶつ
狼の森は他の動物
とは違って群れているのは初めて見ましたが迫力十分でした。オランウ
ちが む ほじ み はくりよくじゅうぶん
ータンは高い所でブランコの様に両手でぶらさがって枝から枝へ森の中
たか ところ よう りょうて えだ えだ もり なか
を移動しながらの生活を再現して、みんな人工的に作った施設ですが動物
いどう せいかつ さいげん しんこうてき つく しせつ どうぶつ
たちの暮らし方をよく見られ面白かったです。ゆっくり動物達を観察する
く かた み おもしろ どうぶつたち かんさつ
と一週間はかかると思います。

つづ
続く…

き かん し こうどく かい いん ぼし ゆう ちゆう

機関誌購読会員募集中

じりつ せいかつ き かん し ねん かい はっこう こうどく
自立生活センターとちぎの機関誌（年3回発行）の購読をしてくれる
かい いん ぼし ゆう かい いん とうろく かた
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、C I L とち
ぎの さまざま あんない ねんかい ひ えん
様々なイベントのご案内もいたします。年会費 300円